

## グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)

設定日：2015年8月31日

償還日：2025年7月22日

決算日：原則、毎年1月20日、7月20日

収益分配：決算日毎

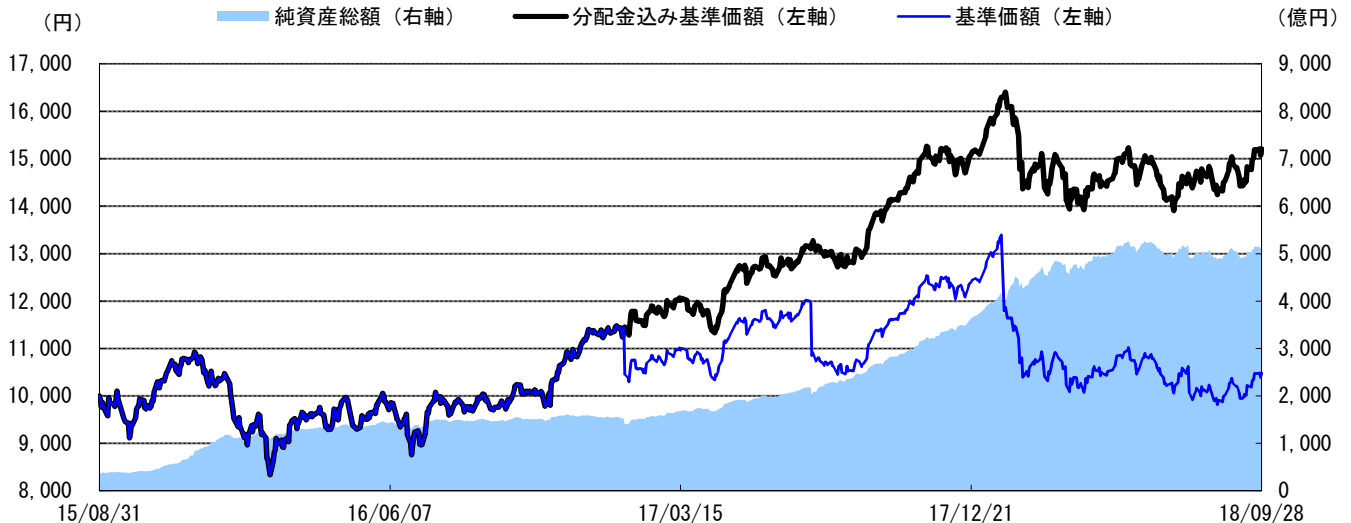
基準価額：10,480円

純資産総額：5,139.48億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 運用実績

## ＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

## ＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
2.01%	7.44%	5.85%	9.18%	64.72%	52.01%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

## ＜分配金実績（税引前）＞

16・7・20	17・1・20	17・7・20	18・1・22	18・7・20
0円	1,000円	1,200円	1,600円	500円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

## ＜基準価額騰落の要因分解＞

前月末基準価額	10,274円			
当月お支払いした分配金	0円			
要	株式	53円	為替	168円
	米国	64円	アメリカドル	130円
	日本	20円	ユーロ	11円
	欧州	-1円	その他通貨	27円
	その他株式	-30円		
因	その他	-15円		
	小計	206円		
当月末基準価額	10,480円			

※欧州には、ユーロ圏の他、英国とスイスが含まれます。  
 ※要因分解は、概算値であり実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。  
 あくまで傾向を知るための参考値としてご覧ください。

## ＜資産構成比＞

株式	95.5%
うち先物	0.0%
現金その他	4.5%

※「資産構成比」は、マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、純資産総額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの内容

※下記データは全てマザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※組入上位10銘柄の概要は、後述をご参照ください。

## ＜組入上位10通貨＞

アメリカドル	55.6%
日本円	29.8%
ユーロ	6.2%
スウェーデンクローナ	4.2%
スイスフラン	3.7%
新台湾ドル	0.4%

## ＜組入上位10カ国＞

アメリカ	45.1%
日本	29.8%
アイルランド	7.2%
スウェーデン	4.2%
スイス	3.7%
ドイツ	3.4%
フランス	2.8%
ジャージー	1.6%
オランダ	1.1%
イギリス	0.7%

## ＜業種別構成比＞

資本財・サービス	38.7%
情報技術	38.2%
ヘルスケア	15.7%
一般消費財・サービス	5.0%
エネルギー	1.7%
電気通信サービス	0.7%

## ＜規模別構成比率＞

時価総額	比率
超大型株（500億米ドル以上）	40.0%
大型株（100億米ドル以上500億米ドル未満）	48.4%
中型株（20億米ドル以上100億米ドル未満）	11.6%
小型株（20億米ドル未満）	0.0%

## ＜組入上位10銘柄＞（組入銘柄数：51銘柄）

	銘柄	国名	業種	比率
1	キーエンス -	日本	情報技術	5.6%
2	ROCKWELL AUTOMATION INC ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	5.2%
3	INTUITIVE SURGICAL INC インテューイティブ・サージカル	アメリカ	ヘルスケア	4.9%
4	ALPHABET INC-CL C アルファベット	アメリカ	情報技術	4.3%
5	HONEYWELL INTERNATIONAL INC ハネウェル・インターナショナル	アメリカ	資本財・サービス	3.8%
6	ABB LTD-REG A B B	スイス	資本財・サービス	3.7%
7	STRYKER CORP ストライカー	アメリカ	ヘルスケア	3.5%
8	ソニー -	日本	一般消費財・サービス	3.4%
9	DEERE & CO ディア・アンド・カンパニー	アメリカ	資本財・サービス	3.1%
10	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	アメリカ	ヘルスケア	3.0%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額の変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎市場環境

米国株式市場は、前月末と比べて上昇しました。米国による中国製品に対する追加関税発動が意識されたことなどから株価は下落する局面があったものの、米国が発動した中国製品に対する追加関税が景気に配慮した税率に止まったとの見方や、中国が幅広い製品を対象に関税を引き下げる計画との報道を受け、両国の対立激化への懸念が後退したことなどが好感され、株価は上昇しました。欧州株式市場は、前月末と比べてまちまちの動きとなりました。米国大統領が自動車関税をゼロとするとの欧州連合（EU）の提案を拒否したことなどが株価の重しとなる一方、トルコ中央銀行による市場予想を上回る幅の利上げを受けて、トルコやブラジルなどの新興国株式が上昇へ転じたことなどが株価の支援材料となりました。

国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比プラス4.72%の上昇となりました。上旬は、米国とカナダによる北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉協議の長期化が懸念されたことや、米国による中国への追加関税発動の警戒感が高まったことなどから、国内株式市場は下落しました。中旬から下旬にかけては、米国の堅調な内容の経済指標の発表を受けて米国長期金利が上昇し、円安／アメリカドル高基調となったことや、米国が発動した中国に対する追加関税率が低位に止まり貿易摩擦に対する警戒感が後退したことなどを受けて、国内株式市場は上昇しました。

## ◎運用概況

当月は、ロボティクス関連銘柄の中では、半導体関連の銘柄などが低調だった一方、農業関連、IoT（モノのインターネット）関連の銘柄などが堅調に推移しました。また、前月に引き続き、資本財・サービスセクターや情報技術セクターの組入れ比率は、高水準を維持する形となりました。

## ◎今後の見通し

足元では、米国の中間選挙を控えた貿易交渉の先行きに対する懸念や新興国市場からの資金流出など、様々な不透明要素はあるものの、日米株式市場は堅調に推移しています。一方で、不透明要素が多い外部環境を背景に短期的な企業業績に対する懸念も生じています。

しかしながら、先進国や中国における生産年齢人口の減少という人口動態の変化や、新興国での賃金上昇、テクノロジーの進歩といった、当ファンドの成長ストーリーの根幹をなす要素は、足元で生じている貿易問題の混乱などによって長期的に変化するものではありません。また、米国における生産比率の引き上げを余儀なくされる企業からの投資が行われることにより、自動化の流れは更に促される可能性も高まっていると考えられます。

加えて、テクノロジーの進化が、医療の高度化・効率化、移動の効率化など人々の暮らしをよりよくするために活用される流れも変わらないと考えており、引き続きこれらの分野も投資魅力は高いと考えております。

このように大きな流れが変わらない中、短期的な株価変動は割高な銘柄を売り、割安な銘柄を買うチャンスと捉えており、この機会を活用してバリュエーションを重視した運用を今後も継続していく方針です。

引き続き当ファンドの強みであるボトムアップアプローチによるアクティブ運用のノウハウを活かし、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目していく方針です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額の変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。  
 ※記載の見解等は、ラザード社による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

<ご参考：組入上位10銘柄の銘柄概要>

<p><b>1 キーエンス</b>            FA（ファクトリーオートメーション）向けセンサーを主力とするメーカー。ロボティクス分野の多くの場面で重要な役割を果たすセンサーをコンサルティング営業で提供する。</p>
<p><b>2 ROCKWELL AUTOMATION INC/ロックウェル・オートメーション</b>            FA（ファクトリーオートメーション）分野において機器だけでなくソフトウェア、システム、セキュリティ等のソリューションをトータルで提供する。幅広いエンドユーザー（最終顧客）を持ち、様々な分野でのオートメーション化の進展をカバーする。</p>
<p><b>3 INTUITIVE SURGICAL INC/インテューイティブ・サージカル</b>            ロボット手術システムメーカーの世界最大手。主力の外科手術ロボット「da Vinci」は患者の負担が少ない低侵襲手術を実現する。各国でロボット手術の保険適用の拡大が進みつつある。</p>
<p><b>4 ALPHABET INC-CL C/アルファベット</b>            国際的なウェブベースのサーチエンジン・プロバイダー「Google」を傘下に持つ持ち株会社。主としてウェブベースの検索、表示広告とツールなどを提供する一方、傘下のベンチャー事業を手掛ける子会社で、AI（人工知能）やロボット、自動運転車事業などを展開。</p>
<p><b>5 HONEYWELL INTERNATIONAL INC/ハネウェル・インターナショナル</b>            航空宇宙製品、自動化・制御システム、発電システム、特殊化学製品など多角的に事業を展開。主力のホーム&amp;ビルディング事業では、住宅やビル向けに空調や照明、警備などを自動管理する機器、サービスを提供する。</p>
<p><b>6 ABB LTD-REG/ABB</b>            スイスに本社を置く重電、重工業メーカー。主力事業の一つであるオートメーション事業において工業・商業分野向けに自動化関連の製品（ロボット等）やシステム、ソフトウェアサービスを提供する。</p>
<p><b>7 STRYKER CORP/ストライカー</b>            人工関節や手術室関連機器を主力とする医療機器メーカー。低侵襲手術に欠かせない手術補助ロボットや内視鏡関連製品のほか、安全で正確な最先端手術を可能にする手術ナビゲーションシステムなどを提供する。</p>
<p><b>8 ソニー</b>            AV機器、ゲーム、映画、金融等の事業を展開する総合電機メーカー。ロボティクスにおいて画像認識の重要な役割を果たすCMOSイメージセンサーに強みを持つ。</p>
<p><b>9 DEERE &amp; CO/ディア・アンド・カンパニー</b>            米国に本社を置く農業機械、建設機械メーカー大手。就業者数が減少し、人手不足が課題となっている農家向けに、GPSを搭載した自動運転農機などを提供。農業自動化を推進する。</p>
<p><b>10 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC/サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック</b>            研究機関や医薬品メーカー向けに研究機器、試薬等を提供する世界最大の総合科学サービス企業。研究開発コストが年々上昇傾向にある中、ロボットやコンピューターを利用して研究開発の作業を効率化するLA（ラボラトリーオートメーション）に注力。</p>

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

**1. 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。**

- ◆今後の成長が期待されるロボティクス関連企業の株式を中心に投資を行なうことにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- ◆産業用やサービス用などのロボットを製作する企業のみならず、ロボット関連技術であるAI（人工知能）やセンサーなどの開発に携わる企業も投資対象とします。
- ◆外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

**2. 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。**

- ◆株式運用に強みを持つ米国の資産運用会社、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー（ラザード社）が「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」の運用を行ないます。

**3. 年2回、決算を行ないます。  
基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、  
分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。**

- ◆毎年1月20日、7月20日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。
- ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ■お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2025年7月22日まで（2015年8月31日設定）
決算日	毎年1月20日、7月20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。	
<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>	
購入時手数料	購入時手数料率は、3.78%（税抜3.5%）を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>	
信託報酬	純資産総額に対して年率1.9008%（税抜1.76%）を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有効証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有効証券関連報酬（有効証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54（税抜0.5）を乗じて得た額）などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有効証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	

## ■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 <a href="http://www.nikkoam.com/">http://www.nikkoam.com/</a> 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 【価格変動リスク】

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

**【流動性リスク】**

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

**【信用リスク】**

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

**【為替変動リスク】**

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

**【有価証券の貸付などにおけるリスク】**

- ・有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク（取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク）を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

**○その他の留意事項**

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
日本証券業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第6号	○	○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第67号	○	○	○
足利小山信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第217号			
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第43号	○		○
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第6号	○		○
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第2号	○		○
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第15号	○		○
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第35号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第6号	○		
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○
株式会社S B I証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○		○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第1号	○		
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第3号	○		○
大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第45号			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第52号	○	○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第5号	○		
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第19号	○		
株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第55号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○		○
株式会社関西アーバン銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第16号	○		○
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第34号			
北群馬信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第233号			
きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第51号			
九州F G証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長 (金商) 第18号	○		
京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第53号	○		
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第53号	○		○
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第25号			
興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第19号			
湖東信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第57号			
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第10号	○		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第11号	○		○
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長 (金商) 第21号	○		
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第3号	○		
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○		
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長 (金商) 第37号	○		
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第170号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第45号	○		○
株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第45号	○		○
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○		○
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第16号	○		
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第128号	○		
株式会社大正銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第19号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第20号	○		
但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第67号			
知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第48号			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第39号	○		○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第121号	○		○
栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第224号			
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第11号	○		
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第1号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第24号	○		○
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第11号	○		
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第15号	○		
西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第58号			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第6号	○		○
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商) 第75号	○		
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第49号	○		○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第21号	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1977号	○		
播州信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第76号	○		
P W M日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第50号	○		
株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第3号	○		
株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州F G証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第3号	○		



## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号	○		
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○		
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○		
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第48号	○		○
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○		
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○		
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○		○
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
明和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○		
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		